

第53回 全国小学校理科研究協議会研究大会，第70回 九州地区理科教育研究大会

## 「福岡大会」の誌上発表（お知らせ）



福岡県小学校理科教育研究会

会長 石松 政浩

（那珂川市立片縄小学校校長）

各小学校におかれましては，児童の安全・健康を第一に考えた新型コロナウイルス感染症の対応に余念がないことと存じます。

さて，本年11月19日（木）・20日（金）に予定しておりました第53回全国小学校理科研究協議会 福岡大会を，関係機関との協議の結果，誌上で発表（大会研究紀要による発表）することといたしました。大変残念であります，新型コロナウイルス感染予防の情勢を鑑み，安全・健康を第一に判断させていただきました。ご理解いただきますようお願い申し上げます。

「福岡大会」は，県小理研の会員と共に10年の月日をかけて進めてきたプロジェクトであります。具体的には，毎年，新理科セミナー等を開催し，新学習指導要領での新しい理科の授業づくりについて，文科省調査官等の講師を招聘し，研究を進めて参りました。また，未来サイエンスコンテスト等で理科好きの先生方の集う場を作り，大会運営の組織づくりも行ってきました。大会は開催できませんが，この研究成果を研究紀要（誌上）で発表することとなります。また，新学習指導要領での理科授業づくりの著書「福岡発！資質・能力が育つ理科学習指導の展開と評価～若さあふれる理科教師のチャレンジ授業～」(ぎょうせい)も発刊いたしました。これまでの研究の積み上げが，全国並びに九州各地の理科教育の発展に繋がることを願っています。

なお，「福岡大会」の研究内容を福岡県大会として，研究発表・授業公開（令和3年1月下旬：那珂川市立片縄小学校、久留米市立篠山小学校で）を行う予定です。詳細につきましては，後日，改めてお知らせいたします。

最後になりましたが，「福岡大会」開催に向けてご指導いただきました文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 鳴川哲也 様，東京大学特任教授 日置光久 様，国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部長 猿田祐嗣様，帝京平成大学教授 船尾聖 様，福岡教育大学 教授 坂本憲明 様，さらには記念講演をお願いしておりました東京大学名誉教授 藤井敏嗣 様に衷心よりお礼申し上げます。

## 『福岡大会』実行委員長挨拶



実行委員長 大野 博史  
(福岡市立飯原小学校校長)

### 「福岡大会」の誌上発表による代替の決定

新型コロナウイルスの感染拡大により，不安な日々が続きます。医療現場に限らず，教育界，経済界においても打撃は計り知れません。

そのような中，皆様におかれましては，様々な立場で，この困難に立ち向かい，子どもたちの命を守ることを第一に教育活動を行われていることと存じます。

このたび，苦渋の決断となりましたが，第53回 全国小学校理科研究協議会研究大会，第70回 九州地区理科教育研究大会「福岡大会」は，全小理，九理協，福理協の役員の方々にご相談し，誌上発表となりました。福岡大会に参加することを全国から楽しみにしているという声をたくさん聞いていました。私ども福岡大会のスタッフや授業者も，福岡の理科を全国に発信できる，この機会を楽しみに考えていただけに，残念でなりません。しかし，全国からお集まりになる皆様や，各会場の児童の安全，今後の準備スケジュール等を熟考の上の判断ですので，ご理解いただきますようお願いいたします。

また，本大会に向けご指導いただいた，文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 鳴川 哲也 様，東京大学特任教授 日置 光久 様，国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部長 猿田 祐嗣 様，帝京平成大学 教授 船尾 聖 様，福岡教育大学 教授 坂本 憲明 様，さらには記念講演をご準備していただきました東京大学名誉教授 藤井 敏嗣 様に感謝の意を表します。これまで皆様にご指導いただいたことは，授業として発表には至りませんでした，誌上にて発表させていただくことといたします。また，私ども福岡で理科を学ぶものにとっては，これまでの準備が決して無駄ではなく，福岡の子どもたちの成長に良い影響を与えることをお約束いたします。

最後になりましたが，ご後援いただきました文部科学省，福岡県教育委員会，県内各教育委員会，校長会等，関係機関の皆様，私どもを最後まで支え応援していただきました，全国小学校理科研究協議会 会長 森内 昌也 様，事務局長 田村 正弘 様をはじめ役員，理事，顧問の皆様，日本理科教育振興協会の方々から感謝いたします。ありがとうございました。